

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年12月14日(2017.12.14)

【公表番号】特表2016-535507(P2016-535507A)

【公表日】平成28年11月10日(2016.11.10)

【年通号数】公開・登録公報2016-063

【出願番号】特願2016-527353(P2016-527353)

【国際特許分類】

H 04 L 1/00 (2006.01)

【F I】

H 04 L 1/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月31日(2017.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

放送システムにおけるFECリペアパケットを生成する方法であって、
ソースパケットブロックをソースシンボルブロックに変換するステップと、
FECコードを用いて前記ソースシンボルブロックをコーディングすることでFECリペアパケットを生成するステップと、を含み、
前記FECリペアパケットは、パケットヘッダとリペアFECペイロードIDを含み、
前記パケットヘッダは、前記コーディングのために使用されるFECスキームのタイプ
を表すFECタイプと、パケットIDと、同一な前記パケットIDを有するパケットを識別するためのパケットシーケンス番号に対する情報を含むことを特徴とする方法。

【請求項2】

前記FECタイプが所定値を示すと、前記リペアFECペイロードIDは、前記FECリペアパケットにより保護される前記ソースシンボルブロックで同一なパケットIDを有する少なくとも一つのパケットのうち最下位パケットを表すシーケンス番号に対する情報と、前記少なくとも一つのパケットの個数に関する情報を含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ソースパケットブロックに適用されるコーディング構造を表す情報を含むFEC構成情報を送信するステップをさらに含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。